



入口
原則として、TMGH修士課程修了者及びLSHTMで修士号を取得した者を対象
面接、外国語検定試験書類審査等により選抜
国際共同研究等を実施することから、高い英語力を想定 (IELTS 6.5-7.0 相当)



● チーム型研究指導

リサーチワーク型の教育課程

自らが従事する研究課題に関する専門的知識を補充する目的で、1年次と2年次に補足的に博士前期の科目を受講することができる。

● グローバルヘルス研究演習 (必修・4単位)

系統的文献レビューを行い、グローバルヘルス研究として十分に独創性と科学的妥当性を有し、実施可能な研究計画を立案する能力を修得。

● グローバルヘルス特別研究 (必修・12単位)

研究計画に基づき研究を遂行し、博士(グローバルヘルス)の学位に相応しい、科学的根拠に基づく研究方法・研究成果の考察を踏まえた学位論文(ティークス形式)を作成する。

研究内容に応じて、研究アドバイザーを設ける。国際共同研究のカウンターパートやLSHTM教員を充てる。

TMGH教員及びLSHTM教員による国際共同研究に参加し、世界レベルの研究者における教育、研究、実践が三位一体となった指導を受ける。

● 国際共同研究への参加

出口

- ・国内外の大学等の教育機関
- ・グローバル展開する企業の研究者
- ・国際プロジェクトにおける研究員や高度専門家の幹部候補
- ・国際コンサル系企業の幹部候補
- ・国際機関等職員

グローバルヘルス分野において、研究者として自立して研究活動を行い、高度に専門的な業務に従事するために必要な高度の研究能力と、その基礎となる豊かな学識を備えた人材であり、国際的環境のなかで、グローバルヘルス分野における国際共同研究・実践プロジェクトを推進できる能力を有した人材を養成

研究指導チームの構築

学生の研究テーマに沿って研究指導チームをリストアップし教授会へ報告。学生が、グローバルヘルス領域において国際共同研究等により卓越した博士論文作成が可能となる研究指導チームを構築。

AC学務委員会 (Academic Committee)

研究計画書審査委員会による、進捗管理

研究計画書審査委員会における審査委員を決定。審査結果を精査し、研究内容等の変更や修正があった場合、研究指導チームと協議、再審査を受けさせる。本審査に合格した者のみが、国際共同研究に参加することが認められる。

論文審査及び修了判定

論文審査における主査及び副査の選定について教授会に意見を述べることができ、また審査員による審査結果の精査を実施し、教授会に報告することにより学位の質を担保する。

入学

1年次(1~4Q)

2年次(1~4Q)

3年次(1~4Q)

修了